

第3回 JIGE グローバル・ドクトラル・コロキウム
分断をどう理解するか：社会・技術・人間をめぐる学際的対話
開催案内

1. 概要

人文社会科学系の博士後期課程学生および若手研究者を対象に、グローバル・ドクトラル・コロキウムを開催します。本コロキウムでは、人文社会科学の各分野における最新の知見を共有するとともに、各年の共通課題に基づいて分野横断的に対話し、研究の社会的意義の検討および社会課題解決に向けた共同研究の促進を目指します。

今年度の共通課題は「分断をどう理解するか：社会・技術・人間をめぐる学際的対話」です。近年、世界各地で分断の拡大が深刻化しています。そして、その問題は、政治的分極化、経済格差、教育格差、地域格差、移民や民族をめぐる対立、ジェンダーや宗教に基づく価値観の衝突など、さまざまな形で可視化されています。また、ソーシャルメディアや動画共有サイトの発達により、人々のつながりが拡張・効率化された一方で、情報や知識の断片化も進みました。考えが異なる他者を攻撃したり排除したりする行為は、いまや日常化しています。AI が人々の関係性や意思決定に深く介入することで、対立が強化される危険性も指摘されているところです。こうした動向は、社会的結束、ガバナンス、そして民主的で包摂的な社会の未来に対する重要な問いを、あらゆる分野の研究者に提起しています。特に人文社会科学には、分断を形づくる構造や制度を理解し、異なる背景をもつ人々、あるいは人間とそれを取り巻く技術や環境がどのように共存できるかを追究することが求められます。

こうした背景を踏まえて、今年度の共通課題「分断をどう理解するか：社会・技術・人間をめぐる学際的対話」が選定されました。発表者の研究テーマは限定されず、幅広い分野・領域の発表が歓迎されますが、それぞれの研究が共通課題とどのように関連し、その理解や解決に向けてどのような視点を提供できるかについて考察することが期待されます。

本コロキウムは、東北大学、関西大学、千葉大学が共同で推進する JIGE プロジェクトの一環として実施され、研究を通じた社会課題の解決と持続的な研究コミュニティの形成を支援します。

- 日程：2026 年 10 月 3 日(土) 午前 9:00-11:00 (日本時間)
- 形式：オンライン
- 内容：研究発表
- 参加費：無料
- 発表申込期限：2026 年 9 月 7 日(月) 正午 (日本時間)

2. 発表要件

- 発表資格：発表者は、以下 5 点を全て満たす必要があります。
 - 1) 東北大学、関西大学、千葉大学、または JIGE の海外相手大学に所属していること
 - 2) 博士後期課程在籍中、または開催日時時点で博士の学位を取得後 5 年未満であること
 - 3) 人文社会科学系領域（※）の研究に従事していること
※ 哲学、文学、言語学、史学、人文地理学、文化人類学、法学、政治学、経済学、社会学、心理学、教育学
 - 4) 本コロキウムに最初から最後まで参加すること（途中参加・退室は原則認めません）
 - 5) 発表申込手続を所定の期間内に完了していること

- 発表方法：以下のいずれかよりお選びください。

(A) 個人発表

個人発表には、「個人研究の個人発表」と「共同研究の個人発表」があります。

「個人研究の個人発表」とは、1 人で行った研究を 1 人で発表するものです。「共同研究の個人発表」とは、複数人で行った研究を 1 人が代表して発表するものです。抄録原稿の発表者の箇所には、1 人の名前しか記載できません。「共同研究の個人発表」の場合は、事前に共同研究者の承諾を得るとともに、抄録原稿の指定箇所に「註」として「共同研究の個人発表」である旨を明記する必要があります。また、共同研究者の名前を記載したい場合は、「註」に付記することが可能です。

(B) 共同発表

2 人以上で発表いただきます。抄録原稿の発表者の箇所には、当日発表する人の名前しか記載できません。共同研究者のうち、一部のメンバーで発表する場合は、残りのメンバーに事前の承諾を得る必要があります。共同研究者ではあるが、当日の発表者ではない人の名前を記載したい場合は、抄録原稿の指定箇所に「註」として付記することが可能です。

- 持ち時間：30 分（発表 15 分、議論 15 分）
- 言語：英語または日本語
- 共通課題への言及：本年のコロキウムでは、共通課題として「分断をどう乗り越えるか：変容する社会・技術・人間の関係性」を設定します。各発表では、通常の研究発表に加えて、ご自身の研究と本課題との関連性、ならびに研究を通じた課題解決への貢献の可能性についても言及してください。

3. 申込方法

Google フォームより以下の情報をご登録ください。締切は 9 月 7 日(月)正午（日本時間）です。Google Form: <https://forms.gle/5YfcJLwm87Rv3YyW9>

- 発表者情報（氏名・所属・学年等）
- 発表言語（英語または日本語）
- 題目
- キーワード（3～5 つ）
- 抄録（発表言語で作成。英語 250 ワード以内、日本語 500 字以内）

抄録は発表言語で作成してください。テンプレートに従い、題目、発表者情報、キーワード、要旨を記入いただきます。提出された抄録は、本コロキウムを担当教員が校閲します。問題があると判断された場合は、発表者に連絡しますので、指定の期間内に対応をお願いします。なお、校閲担当者は守秘義務を遵守しますので、抄録公開前に内容が第三者に知られることはありません。

（テンプレート）

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/wp-content/uploads/2026/04/Template.docx>

問合せ先

東北大学・大学の世界展開力強化事業事務局

（事業名：Blended Mobility Project (BMX)で生み出す「Society5.0 人材」の育成とそのインフラの創出）

tohoku-tenkai-3@grp.tohoku.ac.jp

● JIGE の概要

JIGE は、東北大学、関西大学、千葉大学の 3 つの大学が連携して推進する教育および人材育成のイニシアティブです。2023 年度から最大 5 年間、令和 5 年の文部科学省大学の世界展開力強化事業として取り組みを推進していきます。このプロジェクトは、高校生から専門家まで幅広い層を対象として、インタラクティブな COIL/バーチャル交流モジュールを含む専門的なバーチャル学習空間を提供します。これらの多国間 COIL や VE モジュールは、スタック可能な資格を付与し、高等教育やキャリア開発への道筋を提供します。

公式ウェブサイト：<https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/JIGE/>

● JIGE の海外相手大学

※プロジェクト計画調書の記載順に基づいています

米国：

クレムソン大学、コーネル大学、デポール大学、ニューヨーク州立ファッション工科大学、フロリダ国際大学、ハワイ大学カピオラコミュニティカレッジ、ノースカロライナ州立大学、北アリゾナ大学、ポートランド州立大学、オハイオ州立大学、ノースカロライナ大学チャペルヒル校、ハワイ大学ヒロ校、ハワイ大学マノア校、カリフォルニア大学、ペンシルベニア州立大学、ノースカロライナ大学シャーロット校、ベイラー大学、ワシントン大学、モンタナ大学、テンプル大学、アラバマ大学、シンシナティ大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、ニュースクール大学、メイン大学

その他の国・地域：

ウェスタン大学（カナダ）、サンパウロ州立パウリスタ大学（ブラジル）、ケバングサン大学（マレーシア）、サン・ペドロ・カレッジ（フィリピン）、南洋ポリテクニク（シンガポール）、CEU カルデナル・エレラ大学（スペイン）、東呉大学（台湾）、パンヤピワット経営大学（タイ）、ウォータールー大学（カナダ）、マラヤ大学（マレーシア）、レジャイナ大学（カナダ）